

福地川上境地区上流部築堤工事

平成28年10月13日付けで公告しました上記工事について、「入札公告」を下記のとおり修正いたします。

修正箇所	現 行	修 正 後
1 工事概要 (18)	<p>本工事は、国土交通省が提唱するi-Construction に基づき、ICTの全面的活用を図るため、受注者の提案・協議により、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用するICT活用工事の対象工事である。</p> <p>受注者は、契約後、施工計画書の提出までに発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合にICT活用施工を行うことができる。本工事におけるICT活用施工は、河川土工において、①に示すICT建設機械を用いた施工を行い、②に示すICTを用いた3次元出来形管理等の施工管理を実施し、それらで得られた3次元データを納品することをいう。</p> <p>なお、ICTの活用にかかる費用については、設計変更の対象とし、詳細については特記仕様書によるものとする。</p> <p>① ICT建設機械</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3次元マシンコントロール建設機械(ブルドーザ、バックホウ) ・3次元マシンガイダンス(ブルドーザ、バックホウ) <p>② ICT</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空中写真測量(無人航空機)による出来形管理技術(土工) ・レーザースキャナーによる出来形管理技術(土工) ・その他3次元計測技術による出来形管理技術(土工) ・TS・GNSSによる締固め回数管理技術(土工) 	<p>本工事は、国土交通省が提唱するi-Construction に基づき、ICTの全面的活用を図るため、受注者の提案・協議により、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用するICT活用工事の対象工事である。</p> <p>受注者は、契約後、施工計画書の提出までに発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合にICT活用施工を行うことができる。</p> <p>本工事におけるICT活用施工は、河川土工において、①に示すICT建設機械を用いた施工を行い、ICTを用いた3次元出来形管理等の施工管理を実施し、それらで得られた3次元データを納品することをいう。</p> <p>なお、ICTの活用にかかる費用については、設計変更の対象とし、詳細については特記仕様書によるものとする。</p> <p>① ICT建設機械</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブルドーザ(3次元マシンコントロール、又は3次元マシンガイダンス) ・バックホウ(3次元マシンコントロール、又は3次元マシンガイダンス)